

永三年清上洛ハ時供奉ノ同十年父
小代ツキ甲府城ト守衛シ同十二年
病小よりテ去スト辞シ同二十年八宮
良純親王甲斐國小藩セリ時仰成
ラけたゆりてこそト警固ノ慶安
二年七月勅定奉行トシテ佐渡の事
トト業々支配セリ家譜其子五人坊家譜
勝政ハ寛永十一年十二月ノメ

大猷院殿ト辞シ寛永譜子孫伊丹ハ京勝守ハ時
元禄十一年故有リ家絶也

彌五ノ巫武勝ハ播磨守康勝ノ二男也

ツキメ内藏助トシ寛永譜山城小生

寛永十三年五月ノメ

大猷院殿小ゆみ奉ツ八月より

清小性組の番士小列ノ廩米二百俵ト

たゆり家譜今ハ西嶽清書院番
伊丹守勝英ノ祖ナリ

伊丹守勝重ハ播磨守勝長ノ三男也

つゝ 家譜ノ按タラる小寛永
譜ハ二男ノ系ナリ 寛永十一年十二月七

歳にして

大猷院殿と稱し 寛永 正保二年六月清小

性組ハ番士トなり同四年より麩米

三百俵とたまふ慶安二年四月

嚴有院殿日光山小詣とせたまふハ記伝

奉ル

家譜 今の西城清小性組
伊丹舍人雅梁々祖なり

伊丹

権左守源虎康ハ久隅守康直ハ長男ナル

つゝ駿河小出陣 寛永譜ハ按タラる小家傳ハハハ
ハ春定後虎康ニテ康直ト改メテ

トハ父ト同名ナリモハヤメ ハ権阿彌ト

今川氏真ハ小治久ハ後武田信玄ト

属 寛永 元龜二年信玄駿河小出陣

ハ時北條氏政ノ押シて父康直ト共

小清水口ト守ル云云八年勝頼駿河因